

「実践力向上プロジェクト」

教職大学院生や学部生を対象に、教職の魅力を伝える取組として「実践力向上プロジェクト」を開設しています。

このプロジェクトは、教職大学院生の授業を学部生がセミナーとして受講しているもので、学びの場であるとともに、院生と学部生の相互交流の場にもなっています。そして、教職への動機づけを高めるとともに、実務家教員や現職の院生が教育現場における様々な課題に対する具体的な対処事例等を助言を行っています。実践力や対応力を高めるとともに、院生はもちろんのこと学部生の教職への不安を解消したり、期待を高めたりすることにも繋がっています。



【今年度の参加者の感想】

- ・心構えや実践的なところも学ぶことができ、採用試験への見通しをもつことができた。
- ・面接練習や指導案作成の機会を設けてもらい、本当に自分のためになったと感じている。
- ・採用試験だけでなく、その後も生かすことができるようなものだと思う。

- ・学校が求めている教員とはどのような資質能力をもっているのか、面接や模擬授業の際には何に気を付けたらよいのかなど基本的なことから考えることのできる機会が、非常にためになった。
- ・後期には現職の先生の実際の取組について聞けるということなので、積極的に参加して、実際に教員になったときの見通しがもてるようにしておきたい。

今年度の参加者 大学院生 13名 学部生 61名

2023 日程及び内容

日程	内容
実践力向上プロジェクトセミナー（前期） 6月初旬～6月下旬	第1回・オリエンテーション ・発声練習・自己表現 第2回・採用試験に向けて（面接練習） 第3回・採用試験に向けて（模擬授業）
採用試験面接直前対応 7月中旬～8月中旬	・採用試験個人面接練習（個別）
実践力向上プロジェクトセミナー（後期） 10月中旬～1月下旬	第4回・学級経営の実際①（現職院生による学級経営の実践紹介） 第5回・保護者との関係づくり（ロールプレイング） 第6回・学級経営の実際②（現職院生による学級経営の実践紹介） 第7回・授業づくり、特別支援教育・生徒指導について（講師招聘（現職校長）） 第8回・学校カウンセリングの実際 第9回・課題解決に向けて、学校現場に立つ前に（振り返りとまとめ）

【昨年度の参加者の感想】

- ・安心して現場に向かえることにつながった。特に保護者対応の回は印象に残った。
- ・保護者対応の講義では、実際にロールプレイングの中で保護者の方とコミュニケーションをとる上で大事なことを学ぶことができた。
- ・採用試験が終わったものの、業務のこと、授業や学級経営などわからないことが多かったため、この実プロがとても勉強になった。
- ・「学校の仕事の実際」は、教員生活の見通しが持てなかった自分にとって、参考になるものばかりで不安がかなり軽減された。
- ・現職の先生から、教室環境の整え方や特別支援教育につながるなどを教えてもらい、とても参考になった。

昨年度の参加者 大学院生 21名 学部生 25名

